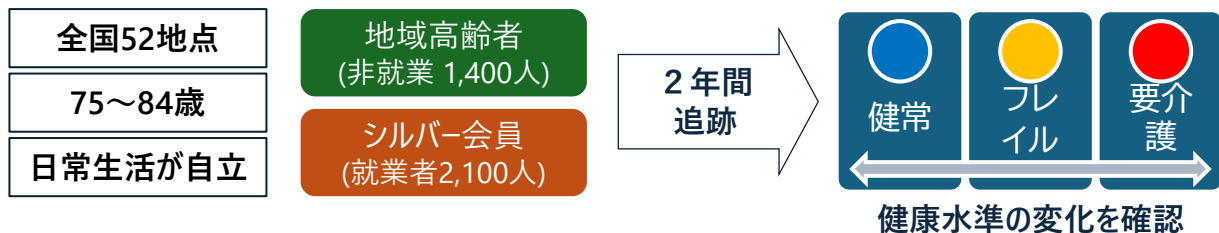


センターでの就業がフレイルの発生に抑制効果！

「シルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する調査研究」調査結果

「シルバー人材センター会員等の介護予防効果に関する調査研究（2022年-2024年）」



実際に2年間追跡したのですね。
でもシルバー会員は、もともと健康な人が多いのではないですか。

はい。なので今回は実際にシルバーでの就業の効果であることを明らかにするため、本研究ではスタート時点の健康状態や生活習慣などが近い地域高齢者とシルバー会員の近いペアを作成して比較分析しました。(注1)



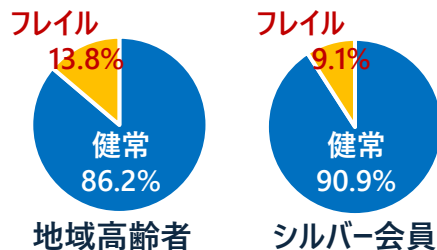
地域高齢者

441組 (882人)

シルバー会員

分析 結果

2年後のフレイル発生率の比較



フレイルの発生リスク比



詳しい分析の結果、地域高齢者に比べてシルバー会員はフレイルの発生リスクが **34% 軽減**することが明らかになりました。

後期高齢期のシルバーでの就業は、フレイルの抑制に一定の効果がある可能性が示されました。(注2)



(注1) 初回調査時の「健康状態」「基本属性」「生活習慣」「社会参加」など17項目を用いて傾向スコアを算出して、最も値の近いペアを組み合わせたマッチングした。

(注2) 石橋智昭, 塚本成美, 渡辺修一郎, 松田文子ほか, 「シルバー人材センター就労会員と地域高齢者における2年間のフレイル発生割合; 全国50地点の75～84歳を対象としたコホート研究」(日本健康医学会雑誌: 印刷中)